

情報連絡員総括表（2020年10月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100%)

- 2020年10月のDI値は、前月との比較において「在庫数量」「取引条件」「設備操業度」を除く6指標が改善、製造業・非製造業ともに「在庫数量」が悪化する結果となった。「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標がマイナス30~40台になるのは2019年12月以来となったものの、新型コロナウイルスの再拡大による景況の悪化を危惧するコメントが多い。
- 「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「設備操業度」が悪化、それ以外の主要3指標を含めた5指標が改善する結果となった。回復の兆しは見えてきているものの、先行きが不透明なことから生産調整や資金繰り、設備投資などに苦慮する声が多い。
- 「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」が悪化、「雇用人員」が横ばい、それ以外の6指標が改善する結果となった。
Go To トラベルキャンペーンの対象に東京都も加わったことにより、宿泊需要が増えた一方で高額宿泊単価の施設に予約が集中し、低価格帯の宿泊施設は苦戦しているとのコメント。またキャンペーン終了後の宿泊客の減少を危惧する声が聞かれる。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年10月	-38.3	-2.3	-20.0	-16.7	-33.3	-33.3	-50.0	-16.7	-45.0
2020年9月	-58.4	-18.6	-23.3	-13.3	-56.7	-43.3	-46.7	-21.7	-56.7
増減	20.1 ↑	16.3 ↓	3.3 ↑	-3.4 ↓	23.4 ↑	10.0 ↑	-3.3 ↓	5.0 ↑	11.7 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2020年10月	-53.4	6.6 ポイント	↑	-23.3	33.4 ポイント	↑	-38.3	20.1 ポイント	↑			
	2020年9月	-60.0			-56.7			-58.4					
在庫数量	2020年10月	-3.3	3.3 ポイント	↓	0.0	46.2 ポイント	↓	-2.3	16.3 ポイント	↓			
	2020年9月	-6.6			-46.2			-18.6					
販売価格	2020年10月	-23.3	-6.6 ポイント	↓	-16.7	13.3 ポイント	↑	-20.0	3.3 ポイント	↑			
	2020年9月	-16.7			-30.0			-23.3					
取引条件	2020年10月	-30.0	-10.0 ポイント	↓	-3.3	3.4 ポイント	↑	-16.7	-3.4 ポイント	↓			
	2020年9月	-20.0			-6.7			-13.3					
収益状況	2020年10月	-53.4	3.3 ポイント	↑	-13.3	43.4 ポイント	↑	-33.3	23.4 ポイント	↑			
	2020年9月	-56.7			-56.7			-56.7					
資金繰り	2020年10月	-46.6	3.4 ポイント	↑	-20.0	16.7 ポイント	↑	-33.3	10.0 ポイント	↑			
	2020年9月	-50.0			-36.7			-43.3					
設備操業度	2020年10月	-50.0	-3.3 ポイント	↓			-	-50.0	-3.3 ポイント	↓			
	2020年9月	-46.7			-46.7								
雇用人員	2020年10月	-16.6	10.1 ポイント	↑	-16.7	0.0 ポイント	-	-16.7	5.0 ポイント	↑			
	2020年9月	-26.7			-16.7			-21.7					
業界の景況	2020年10月	-56.7	6.6 ポイント	↑	-33.4	16.6 ポイント	↑	-45.0	11.7 ポイント	↑			
	2020年9月	-63.3			-50.0			-56.7					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	1	3	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	1	1	1	3
	繊維工業	0	3	1	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0	2	0	2
	木材・木製品	0	5	1	3	0	1	0	1	0	5	0	2	0	4	0	1	0	4
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	2
	一般機器	0	4	2	0	0	2	0	3	0	3	0	4	0	4	0	1	0	4
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	送用機器	3	2	0	1	0	1	0	1	3	2	1	2	2	1	1	0	3	2
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
非製造業	卸売業	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0			1	0	0	1
	小売業	0	2	0	1	1	1	0	0	0	2	0	3			0	1	0	3
	商店街	1	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1			0	1	0	3
	サービス業	2	0			1	1	0	0	2	0	1	0			0	0	1	0
	建設業	1	3			0	3	0	2	0	4	0	2			0	1	0	2
	運輸業	0	5			1	2	1	1	1	1	0	1			0	3	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の業界低迷と先行きの不透明感から、老朽化が進む設備への再投資がしづらい。 ・ 新型コロナウイルスの影響による事業活動の鈍化は未だ解消されてはいないが、生産調整等で設備の操業率が下がった事によって固定費が減少した。それにより収益は一定の水準が維持できた事は不幸中の幸いと言える。
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小売と贈答の需要が低調で厳しい状況が続いている。冬の巣ごもり需要に期待している。
パン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響で外出自粛における生活様式の変化により、自宅で食事をとる方が増えていることから、手軽に食べられるパンの需要も増加している。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響が大きく、常に1年先の市場を見た生産活動が主となる業界のため、先行きの見えない状況は非常に厳しい。 ・ 既存取引先との受注確保も厳しく、新規取引先の開拓を模索するも、会員企業の規模が小さいため単独での行動には人や資金の負担が大きく、現状打開のための一歩が踏み出せない。 ・ 浴衣地の出荷は前月と同様ほとんどなし。正絹、麻生地の出荷は、例年の6割程度。新型コロナウイルスの影響は、少なくとも今後1年以上続くと思われる。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高対前年比84%で厳しい。 ・ 展示会等でも売上は前年の半分くらいで、低価格の商品が多数を占めている。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相変わらず立木の伐採が抑制されている模様で、原木の仕入れに支障が生じ、生産に影響が続いている。
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要の着実な戻りはあるが依然弱く前年と比較すると減少している。 ・ 土産等の包装用紙の受注の伸び悩みが続いている。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の減少が見えない中で売上げ減少が続いている。 ・ 競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。 ・ 内製化の推進により、外注依頼作業が減少している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年比68.8%。先行きが不透明で資金繰りに苦慮している。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車業界に回復の兆しが見えているが、アメリカの大統領選の行方で、今後が不透明となっている。 ・ 業種によっては急激に回復している組合員もあるが、全体的にはまだまだ回復状態にはない。 ・ 求人への応募が少ない。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親会社の状況が良くない。この先の状況についても良くなる見込みはない。 ・ 自動車関連設備の受注減もあって、赤字覚悟の受注競争が増え始め、更なる窮地に陥る可能性が高い。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫並びに家庭用エアコンは、上期の販売好調を受けて下期も昨年を超える生産でスタートした。冷蔵庫は生活様式の変化の影響もあり大容量の機種需要が増加している。 ・ 家庭用エアコンは巣ごもり生活などにより販売は引き続き好調に推移している。 ・ 業務用エアコンは需要回復が遅れているが、海外向けの出荷が増えてきている。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員企業全体的には、大手メーカーの在庫調整の目的が立ち量産物は前年並みになってきたが、新規及び開発・設備関係が消極的な状況のため、その関連下請け企業は苦悩・苦戦している。 ・ 新型コロナウイルス対策による制約を受ける中での生産活動となっているが、上期に比べ生産量は増加し業績は好転してきている。但し、感染の終息が見えない中、市況の先行き不安は解消されておらず安心できる状況には程遠い。 ・ 自動車部品関連業他については、ほぼフル操業状態となっているが、新型コロナウイルスの影響による生産調整の懸念があるので、状況が一変する危惧を感じながら経営をしている組合員が多い。 ・ 厳しい状況が続いている

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害復旧関連工事や大型案件工事等の出荷が始め2ヶ月振りに前年実績を上回った。新型コロナウイルスの終息時期が読めなく先行きは不透明である。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巣ごもり需要で、スーパーや小売店は堅調に推移すると見られるが、飲食(外食)はGoToキャンペーンなどの需要喚起策により、売上高や来客数に期待がかかる一方、感染再拡大が予想される。また感染拡大防止の観点から忘年会の中止が予想され、法人需要は落ち込む可能性がある。卸業は依然として厳しい状況にある。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響が年配者の来客が少ない。 ・ 年末にかけてのお客様の動向が気になる。 ・ 新型コロナウイルスの影響で飲食店の夜の売上げが厳しく、11月に閉店することになった組合員もある。 ・ 月末は来街のお客様で賑わいが出てきた。Go To Eatによる今後の売上げ増に期待する。 ・ 月末のセールが予想以上に好調であり、前年同月の売上げを上回った。年末に向け、少しずつ消費が回復することを期待する。 ・ 状況は少しずつ好転しつつあるが人の動きが依然として少ない。新型コロナウイルス再拡大による影響が心配される。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ Go To トラベル効果(特に10月からの東京除外解除から)で大幅に旅行需要が増えた。ただし、割引率のメリット感から高額宿泊単価の施設に予約が集中する傾向であり、低価格帯の宿泊施設は苦戦している。 ・ インバウンドや団体旅行の動きがないため、大型宿泊施設は集客(稼働率アップ)が厳しい状況となっている。Go Toトラベルの実施期間である来年1月末までの動きはあるものの、2月以降の予約が極端に低迷しており、Go Toトラベル終了後の集客が不安視されている。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共工事の受発注状況は概ね例年どおりであるが、小規模工事や効率の悪い工事では不調、不落の案件もみうけられる。 ・ 官庁の土木工事は発注されているが、建築工事は少ない状況。民間工事は見積の件数は多く出ているが、予算がかなり厳しい状況で契約まで行くかは不透明な状況。 ・ 仕事量が少なく採算割れ単価が横行している。
電気工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 即戦力となる技術職が不足している。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響を受けている産業中心に設備投資に消極的になっているのか、徐々に新規案件がなくなってきた。少ない仕事を取りに行く、もしくはあっても価格交渉が難しくなってきた。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月中旬以降荷物情報が増えはじめ、回復基調がみられるが、相変わらず運賃は低迷している。 ・ 荷動きが悪いため、運転手を交代で休ませている会社がある一方で、一部では昨年並みに出荷が戻り始めている組合員もある。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の県全体の対前年運送収入は8月より10ポイント改善した。とはいえ、マイナス35%と相変わらず厳しい状況が続いている。 ・ 令和2年度上半期の対前年比では、第1四半期の大幅な落ち込みの影響が強く、輸送人員がマイナス39%、運送収入がマイナス38%で、需要の回復が鈍い中で依然として厳しい収支状況となっている。 ・ Go To トラベルの共通クーポンや大型クルーズの再開などの明るい話題も出始めているが、収支を大幅に改善させるほどの効果は期待薄といったところ。

4. 中央会・行政への要望

印刷業・同関連業より

行政・省庁の入札案件で、自社で生産ができない仕様の印刷物をネット印刷の手配を前提に入札、落札している業者が見受けられる。地元企業への発注、入札資格の厳正化を要望いただきたい。

生産用機械器具製造業より

国の補助金等の政策は助かるが、国内での仕事を増やす公共投資等を検討すべき。

5. 主要三指標における DI 値の推移

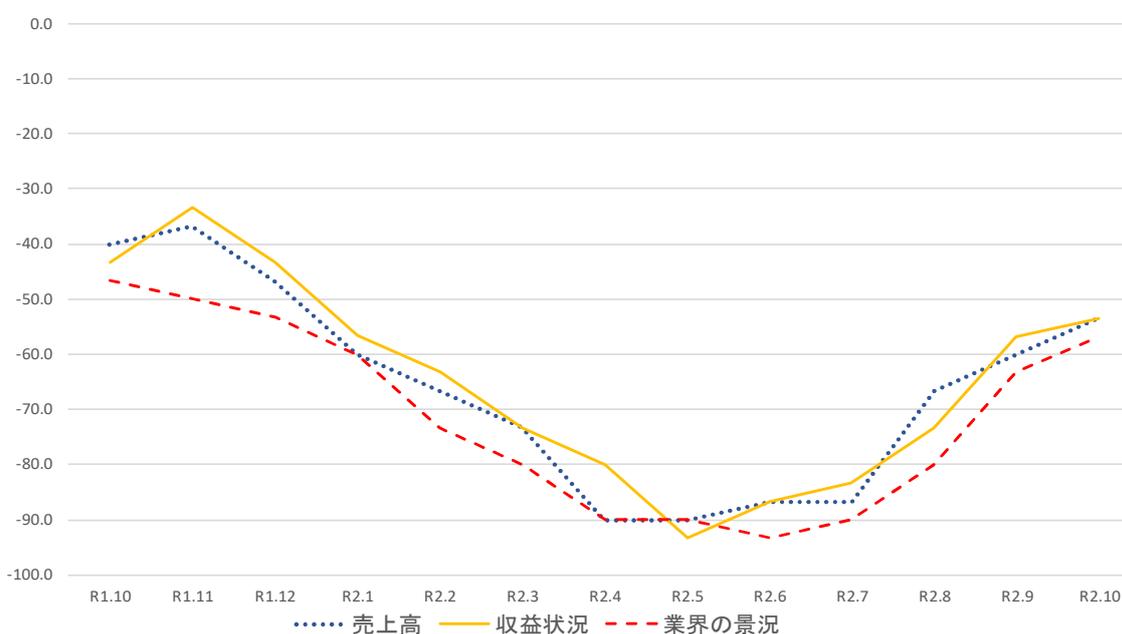
■ 2019年10月期～2020年10月期までの推移

全体	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
売上高	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3
収益状況	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3
業界の景況	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0

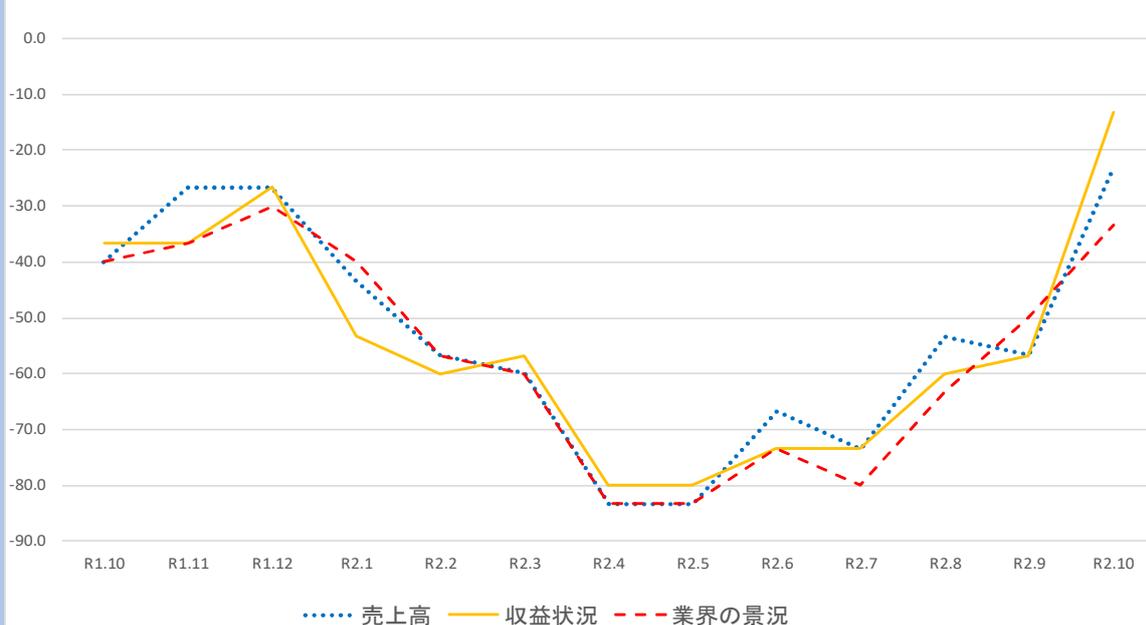
製造業	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
売上高	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4
収益状況	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4
業界の景況	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7

非製造業	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
売上高	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3
収益状況	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3
業界の景況	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4

【製造業 DI 値（前月比）】



【非製造業 DI 値（前月比）】



■ 2019年10月期～2020年10月期までの推移

売上高	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
製造業	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4
非製造業	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3

収益状況	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
製造業	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4
非製造業	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3

業界の景況	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
製造業	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7
非製造業	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4

